

仙台市より表彰 —環境保全活動優良団体

「平成 16 年度仙台市公衆衛生功労者等表彰式」は、11 月 29 日、仙台市役所 8 階ホールで催されました。式には 13 の分野での表彰団体の代表者約 50 名ほどと仙台市の担当職員が列席し、MELON からは門田理事が出席。藤井仙台市長より直接感謝状が手渡されました。

今回 MELON は「環境保全活動優良団体」として表彰されました。その具体的な推薦理由は、仙台市の環境パートナーシップ推進事業の一環でもある「仙台スタジアムごみ減量大作戦！」をはじめとした MELON の一連の活動が環境保全の重要性を市民に広く訴えたということが評価されてのことでした。

感謝状は早速、額に入れて事務所の壁に掛け飾っています。自治体から感謝状が贈呈されたということは、これまでの活動が実を結んだという意味で事務局としてもうれしく思いますし、今後のさらなる活動に向けての励みになると思っています。



こどもに本を読んであげるのは、おかあさんだけではありません。おとうさんも結構じょうずなんですよ。「おとうさん、本読むのおもしろいのよお」と子どもに本を持たせましょう。きっと「のせんなよ」といって読み始めます。



宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」が見えてきそうな絵やお話なのですが、どうもはなしがすっきりとしません。きっと読んであげれば、たくさんの質問が出て

きむらよしお作・絵「星の工場」(白泉社)は星の工場(こうば)で働いているお父さんをさがしに出かけます。おとうさんに会えたことは会えたのですが、またどこかへ行ってしまったのです。鉱山や精錬所のあった町を舞台にして、時代を移り変わりが描かれていて、

お父さんのための 本読み講座

くるに違いありません。その、質問を楽しみましょう。正しい答えなんてないかもしれませんが、「おとうさんに教えてもらった」ことが子どもたちには答えになっているのです。だから自分のかんがえを話してあげましょう。

土曜の夜、本を読んであげた後は、あした、日曜日の準備です。書類の間にかくし持っていた「森の標本箱」(小学館)を取り出します。パラパラとめくって「このぐらいのことはおれにだってできる」とうっちゃってしましましょう。あとは、次の日にちょっと早起きをして、小刀とポンドなんかをポケットに入れて、子どもを起こし河原へでも浜辺へでも、近くの鎮守の森でもでかけましょう。

お父さんの本読みは立体的なのです。

